

中津市三保地区

(大分県中津市)

計 画 期 間 平成 18 年度～21 年度
 面 積 24ha
 交付対象事業費 365.6 百万円
 市人口 85,661 人 (地区内人口 2,835 人)

ポイント

区域内の道路整備及び生涯学習・公共の福祉の場の整備により、地域の活性化を図り、住み良い生活環境を実現する。

区地概要

周辺の自然環境に調和した活気あるまちづくりのため、「三保交流センター」及び「三保文化センター」を市民交流の拠点と位置付け、周辺道路の整備とともに緊急避難場所としての耐震強化を各施設に施すことで住民の安心・安全な環境を確保する。

目 標

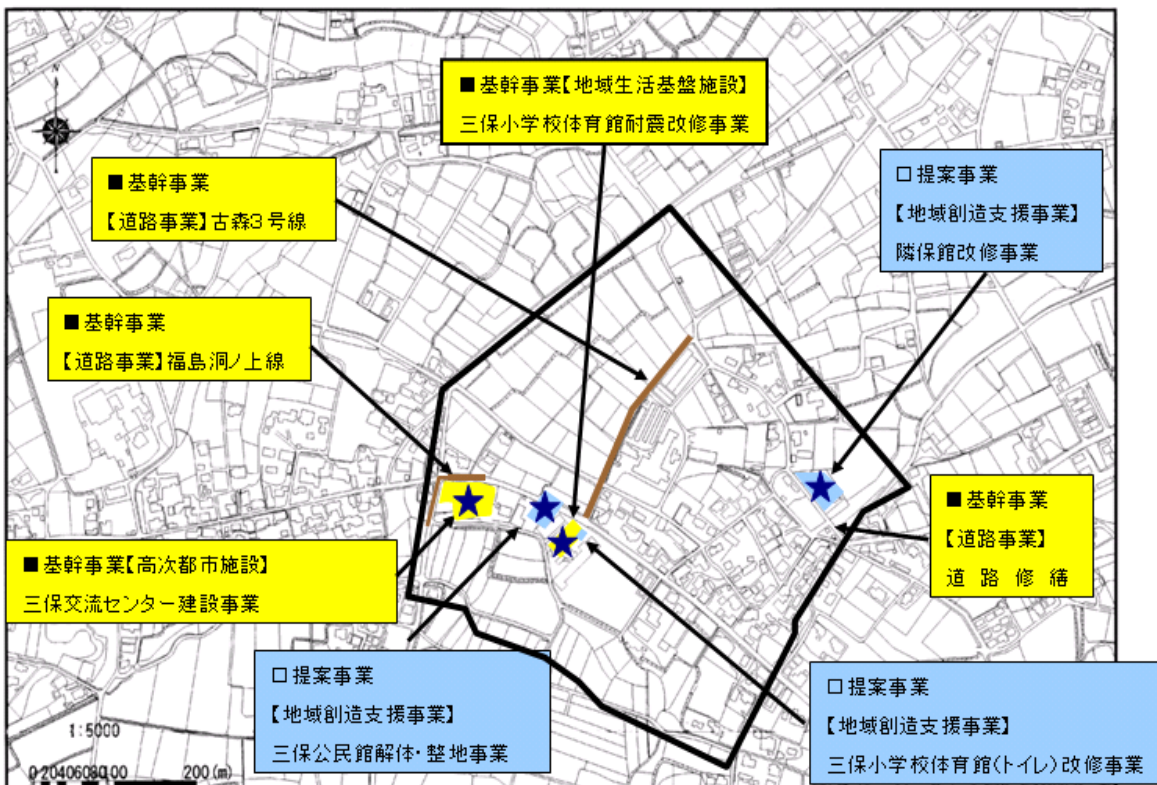
1. 周辺の自然環境に調和した住環境の整備及び三保小学校体育館改修工事により、耐震強化を図り安全・安心な居住環境を整備する。
2. 三保地区の中心地に三保市民交流センターを整備し、市民交流を図るとともに生涯学習及び福祉利用の増進を促進する中核施設とする。
3. 古森隣保館にエレベーターを設置し、利用者の利便性を向上し利用を促進する。

指 標

年間のべ利用者数	(人/年)	5,676	H16	11,750	H22
隣保館の利用者の増	(人/年)	4,181	H16	4,600	H22
児童通学時危険率	%	60%	H16	40%	H22
耐震化率の増	%	10%	H16	50%	H22

事業内容

基幹事業費 321.3 百万円 道路事業 (2 路線) 地域生活基盤施設 (面積 519 m²)
 高次都市施設 (総面積 585.67 m²)
 提案事業費 44.3 百万円 古森隣保館改修工事 (1 カ所) 三保公民館解体整地 (面積 440 m²)
 三保小学校体育館改修 (面積 15 m²)



地区の現況と課題

三保地区は、人口密度が少なく、中心市街地にくらべ少子高齢化が進んでおります。中心市街地から離れているため市民の交流を行う施設が三保公民館・古森隣保館しかなく、その公民館・隣保館も老朽化が進みバリアフリーも十分ではありません。また、駐車スペースの確保も十分ではありません。その為、新たに市民の交流の場として生涯学習や、福祉施策を行う中心となる施設を整備し、地区住民の活性化を図る必要があります。

基幹事業の特徴

道路（古森3号線）(福島洞ノ上線)(万田四日市線)

- ・通学路として歩道のついた安全な道路にする

三保交流センター建設

- ・地域の生涯学習・公共の福祉の場として建設した

三保小学校体育館耐震改修事業

- ・体育館を緊急避難施設として耐震性強化改修した

提案事業の特徴

三保公民館解体・整地

- ・旧三保公民館を解体して整地する

隣保館（エレベーター設置、改修）

- ・入り口をバリアフリーにして、エレベーターを設置する

三保小学校体育館（トイレ）改修事業

- ・トイレを水洗化に改修した

計画策定プロセス

地区の課題をふまえ、「福祉の里づくり」を基本理念に、地元関係者等と協議をした結果「地域づくりの拠点」となりえる場所・建物が必要であるという希望を取り入れ、道路事業（生活・通学道路の整備）生活基盤施設（生涯学習拠点）の建設。地域創造支援事業（災害時避難所の耐震強化改修）に取り組む計画を策定し、安心・安全な生活環境の実現をめざすこととしました。

三保交流センター



道路（福島・洞ノ上線）



古森隣保館改修



三保小学校体育館改修

